

中国秋季リーグ戦男子1部 Final stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

10/26～27 に広島県猫田記念体育館において、中国秋季リーグ戦男女1部 Final stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島工業大学

○3-1 (25-22、22-25、25-16、25-20)

vs 東亜大学

●0-3 (15-25、17-25、16-25)

vs 広島国際大学

○3-1 (19-25、25-15、25-16、26-24)

(男子最終結果)

1位 福山平成大学 9勝1敗

2位 東亜大学 9勝1敗

3位 広島経済大学 6勝4敗

4位 広島大学 4勝6敗

5位 広島工業大学 2勝8敗 (2部降格：広島修道大学1部昇格)

6位 広島国際大学 0勝10敗 (1部残留)

ベストスコアラー賞 山下 歩

(女子最終結果)

1位 環太平洋大学 9勝1敗

2位 中国学園大学 8勝2敗

3位 至誠館大学 6勝4敗

4位 広島文化学園大学 4勝6敗

5位 広島国際大学 3勝7敗 (1部残留)

6位 福山平成大学 0勝10敗(1部残留)

(写真集ページ(中国学連HP))

<https://chugoku.hiroshima-u.ac.jp/sonota-top.html>

9/28から開幕した第100回中国秋季リーグ戦は、11/4の入替戦をもって無事に閉幕しました。中国学連委員長の尾崎(4年・鳥取・米子東高校)、副委員長の和田(3年・広島・賀茂高校)をはじめ、多くの学生が5週連続で運営にあたり、試合日当日はもちろん、開催前から開催後まで多大な尽力をしてくれました。昔と比べると、やっていること、やるべきこと、留意しなければならないことが遥かに増えている中で、多くの学生が共に協力し、次の世代へ引き継いでくれていることが第100回を迎えられた大きな要因であり、事務局を継続して担っている広大会部としては紛れもない誇りです。関西や東海、九州と比べると、そもそも人口が圧倒的に少ない中国地方ですが、開催場所や遠距離移動などの様々なハンディキャップがありながらも、どの試合も非常に熱のこもった熱い試合が繰り返されています。特に近年はどのチームも真面目で一生懸命で、リーグ戦ではそれぞれのチームにドラマが生まれます。たくさんの方々の支えがあるからこそ起きる瞬間は、若者たちの情熱、熱意がエネルギー源となっています。今後、時代と環境はますます厳しくなるかもしれませんが、まずは次の100回が開催できるように、そして今よりもさらに発展できるように、若くて熱い力に期待しています。

今秋の1部リーグ戦は3週間で10試合を戦うハードスケジュールとなり、どのチームにも波が見られましたが、最終週の疲労感を最も感じたのは広島大学でした。福山平成大学や広島経済大学も苦しい戦いを強いられていましたが、リーグ戦を通して安定して力を発揮できる、ブレない選手の数が他のチームと比べて多く、真夏の練習量が順位を一つ上げる結果につながったことは間違いありません。チーム状態が良いときは、苦しい場面でもチームを救う選手が代わる代わる現れるものですが、広大会は高橋(4年・北海道・札幌北高校)が状態を維持したのが最高で、残念ながらブレイクスルーが起きることはありませんでした。ただ、状態が悪くない中でどれだけのパフォーマンスが出来るかは非常に重要で、春と比べると明らかに飛んでいない山下(3年・広島・安古市高校)が最後まで得点をとり続け、ベストスコアラー賞を受賞したことは見事と言う他ありません。山下は体格や身体能力の点で、他のスパイカーと比較すると決して目立つものはありませんが、得点を取ることを誰よりも諦めず、ブロッカーの手の動きを最後まで見ていて、中国地区のスパイカーの中で最も雑ではない選手だと言い切れます。得点するときも失点するときも、なぜ得点できたか、なぜ失点したかがよく分かっており、スパイカーとしての責任を背負ってプレーしていることが伝わってきます。バレーボールはコートに6人もいるため、失点したときの責任の所在が曖昧になりやすく、関係なくとも自分のせいだと思うところが成長を大きく妨げます。得

点、失点の構造を正しく理解している選手は、時間がかかっても、練習を止めてでも、丁寧にチームに説明して理解を広げることが、今のメンバーで前に進む第一歩になります。2015年春以来、9年（19季）ぶりの4位をどう捉えるかは自分たち次第ですが、下位チームとの差は、もうあとわずかです。

今大会も遠方より会場に駆けつけてくださった皆様、審判等でご支援いただいた皆様、ご声援いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

今後の公式戦は、16日（土）に広島大学において広島県インカレが、26日（火）から関東において全日本インカレが開催されます。

女子は広島県インカレが、男子は全日本インカレが今年最後の公式戦となります。

引き続きよろしくお願いたします。